

予算議案 を問う

一般会計予算議案 に対する討論【要旨】

各会派等が、一定のスペースで自由にまとめたものを掲載しています。

3月24日の本会議で令和5年度一般会計予算議案に対する表決に先立ち、各会派等を代表して賛成・反対の討論が行われました。紙面の都合上、実際の討論と異なる順番で記載しています。自由民主党市議団、立憲・市民フォーラム、日本共産党国分寺市議団、公明党、無会派（国分寺・生活者ネットワーク）、無会派の順で行いました。

録画配信は
こちらから
(6月8日まで)



賛成

人に優しい未来へ！持続可能なまちづくり

令和5年度一般会計予算においてはウクライナ侵攻による物価高騰、エネルギー問題、ウィズコロナ・アフターコロナの影響を大きく受け総額560億9,262万1,000円(11.4%増)が計上され、特別会計においては全ての会計で増額となり、下水道事業会計を除く3会計の合計額は243億5056万1,000円、両会計では総額804億4318万1,000円(8.5%増)と大型予算となっている。歳出の状況を見るとコロナウィルス対策費から衛生費の5億2,397万2千円(11.2%増)三小、十小の2校の校舎増築事業の工事請負費として教育費13億5208万5千円(25.1%増)、新庁舎建設事業に関わる総務費30億2,103万4千円(102.6%増)など、今年度のみ予算外では民生費は前年度比較11億6911万6千円(4.7%増)継続増と、これからも増加する傾向は続くものと思われる。今後も民間との連携からさらに質の高い福祉事業への取り組みを要望する。**アフターコロナを見据えた街の活性化**では事業者への支援はもとより、情報発信として学生によるASMR事業(視覚、聴覚にうったえるイメージ広報)は自由な発想から、どのような魅

力発信が行われるか、またどのような視点で国分寺を見て表現するのか、活性化事業として、とても楽しみである。そして「国分寺駅南口再整備事業」「西国分寺駅開業50周年記念連携イベント事業」「西国分寺駅北口駅前エリア整備事業」等の事業は市民から寄せられる期待に応え、明るく安全で活気ある国分寺の未来に繋がる事業として進めていただきたい。

誰もが自分らしく健やかに生活できる街の実現では50歳以上への「带状疱疹ワクチン任意予防接種事業」。定期予防接種に「子宮頸がん9価ワクチン接種」を追加。「デジタル機器を活用した高齢者の健康増進と地域活動の活性化事業」によるフレイル予防の推進。高齢者一人暮らしの見守りサービスの一部助成として「高齢者見守りサービス助成事業」など、市民の健康な生活を支えることに期待する。

子供の成長を皆で支えるまちづくりとして民間施設を利用した学校水泳指導の実施。これにより校庭の狭隘状況の解消、教員の学校プール施設の維持管理の負担軽減やより効率的な指導を期待する。学校給食費食材料高騰分支援ついて

自由民主党市議団 (賛成7人)

森田たかし 尾作 義明
丸山 哲平 尾澤しゅう
小坂みちよ 新海 栄一
吉田りゅうじ



尾作 義明

は給食費から、生活費の高騰に保護者の負担が増す中、負担軽減につながる。

関東大震災から100年を契機とした強靱なまちづくりではコロナ禍の経験から、災害発生時のストレスを和らげ避難行動を続けられる自宅での避難生活は重要だ。そのための「家庭用防災用品購入費補助事業」は人命に関わる大切な事業と認識する。また「AED屋外移設」「無人航空機(ドローン)整備事業」「コミュニティFM事業」や、新庁舎を基点とした防災計画の見直しなど市民の生命と財産を守る新施策に期待する。

新庁舎建設と未来につながる持続可能な行財政運営では市民サービス、利便性の向上、職員の働き方改革につなげ、市民へ同じ内容の申請記入は1回に、一つの窓口での対応、庁内はペーパーレス化の実現に取り組んでいただきたい。全ての事業が「すべての人を大切にするまち宣言」につながる予算として高く評価する。

賛成

「市民の声を受け止める」市政運営こそ重要

一般会計の**予算規模は総額560億9,262万1千円、前年度対比57億3,557万1千円11.4%増と過去最大規模**。財政調整基金の取り崩しをせず、他の基金からは最小限の取り崩しと堅実で基金残高も129億円と着実な取り組みと言える。一方、未償還残高の増加、経常収支比率は94.3%と財政の硬直化傾向と厳しい現状だ。**市民への分かりやすい情報提供や公表に努めていただきたい**。新年度における改善点等について述べます。
◆**職員人件費** 会計年度任用職員は正規職員の54%であり、当該職員抜きの業務は成り立たない。処遇改善と適正な配置をしていただきたい。
◆**職員研修**はより効果的な研修が求められる。アンコンシャスバイアス(無意識の思い込み、偏見)に関するテーマの研修も検討せよ。ハラスメントや市民対応向上につながることを考える。
◆**市報に広告掲載**がされる予定だ。掲載基準には一方に偏った性のイラスト等の表現にならないよう**ジェンダー平等の視点**を取り入れよ。
◆**民生児童委員の欠員**が多く心配な状況。庁内関係部署、関係団体等情報共有し候補者選定を。
◆**移動支援、ガイドヘルパー**について、ショート

ステイ連泊での外出に利用できるようになり生活の幅の拡大となり評価し更なる充実を求める。

◆**子どもの発達センターつくしんぼ**の専門相談業務は、アウトソーシングの方針だが委託先に関して保護者・OB等から心配の声がある。現在作成中の仕様書について想定される相談員、相談数について問うものの、現段階で答えられないとのこと。大まかな数も示されず残念だった。この間、政策形成過程において不信は否定できない。信頼回復に向けての取組みを強く求める。

◆**保育所入所見込み数精査**と保育の質の向上を。

◆**有機フッ素化合物による地下水、水道水汚染**に関しては、市が東京都に問い合わせ中で回答待ちとのこと。現在、汚染問題は市民の関心が高いテーマだ。庁内関係部署での協議も行うとの考え方が示されたが、湧水及び地下水の保全に関する条例を有する市として主体性に、より分かりやすい情報発信等行うことを求める。

◆**戸倉公園**は地域の期待が大きく多彩で豊富なアイデアが寄せられている。実現の可否について市としての検証を踏まえ、市民に返す場の設定を。それが「市民の声を受け止める」ことだ。

立憲・市民フォーラム (賛成5人)

だて淳一郎 及川 妙子
はせべ豊子 星いつろう
皆川りうこ



皆川りうこ

◆**新町樹林地都市計画緑地**として整備の予定だ。市内東西の都市公園のバランス上で必要とのこと。当該樹林地はH25年に市が作成した整備に関する考え方が残されている。今こそ地域福祉の面で重要な視点であり尊重した上での整備を求む。

◆**トライルーム**事業では、ひとり親、共働き家庭等送迎がないためにトライルームを諦めざるをえないとの声あり。また、自主学习が前提のため低学年のお子さんは通えない。送迎サポート等通いたいのに通えない状況を改善すべき。

◆**障がい者の余暇活動の推進**のために設置された障害者福祉施策連携協議会は福祉部局とも連携して進めよ。恋ヶ窪公民館に設置されるエレベーターの代替えとしての**車いす昇降機設置**は、利用者への丁寧な説明や対応をするように。

◆**事業スラップ**として年間約1,100万円維持管理費国分寺駅北口の**デジタルサイネージ**の撤収を。

■他にも**学童保育、成年後見制度、定期監査の指摘事項、選挙公報等**に関しても述べました。

賛成

次の世代にツケを残さない市財政運営に期待

適切な財政運営は評価するが、予算額の大幅な伸びや市民一人当たりの市債残高の増など、注意すべき指標も見られる。90億円を越えている財政調整基金と公共施設整備基金も令和10年度には54億円まで減る見通しであり、更なる財政健全化を求める。また、ふるさと納税の流出額が7億9千万円見込まれており、看過できない。抜本的な制度の見直しを国に求めるべきだ。

個別事業として(抜粋)、電気料金高騰の折、更なるLED化と省エネ意識向上を期待する。西国分寺駅50周年イベントを市中央エリア活性化の起爆剤に。4月から努力義務となる自転車のヘルメット着用に関し、命を守るために徹底を。検診事業全般に受診率が落ちているが、特に受診率が1.2%の歯科検診の向上を。ぶんバスによる事故やルート誤りが続発しており、運行事

無会派 (賛成1人) 木村 徳



木村 徳

業者への徹底指導を。女性消防団員の導入を。最後に市史再編纂は後世に残る貴重な資料としてしっかりしたものを作って頂きたい。すべての人を大切にするまち宣言の考え方が広く浸透した市政になることを期待し賛成討論とする。